

基本目標8 男女共同参画を進める教育と学習の推進

子どもたちが、性別に基づく役割を固定した考え方にしばられることのないよう、学校や地域、家庭において男女平等について学べる機会を提供します。また、働くことの意義と重要性を理解し、子ども一人ひとりの個性や能力が活かせる将来の人生設計が描けるようなキャリア教育を進めます。また、「男らしさ」を背景とした男性ゆえの生きづらさを解消し、自分らしい生き方が選択できるよう、啓発活動や学習機会の提供等を行います。

施策の基本的方向・具体的施策・施策内容

19 子どもの頃からの男女平等への理解の促進と将来を見通した自己形成支援

(47) 男女平等を推進する保育・教育の充実

124	人権尊重を基盤にした男女平等観の形成を図るための保育や教育を充実します
125	保育所(園)、幼稚園、学校等での固定的な性別役割分担意識の解消に努めます
126	男女平等についての理解を深めるため、保育・教育関係者に対する研修を充実します
127	男女平等の視点に配慮した教育相談を実施します

(48) 性別にとらわれないキャリア教育の推進

128	子どもたちが、社会人・職業人として自立していけるよう、年齢に応じたキャリア教育を推進します
129	中学校の職場体験学習を充実し、働くことへの理解を深めます

(49) 様々な人との共生への取組の推進

130	外国にルーツを持つ子どもたちが自尊感情を高め、主体性を確立するための支援を行うとともに、子どもたちが豊かに共生する心を育む多文化共生の取組を推進します
131	多様な性のあり方への理解を深めるための啓発を推進します

20 男性にとっての男女共同参画の推進

(50) 男性にとっての男女共同参画に関する啓発や学習機会の提供

132	男性にとっての男女共同参画の意義について理解を促進するための学習機会を提供します
133	男性が家事、育児、介護等、生活者としての能力をつけるための学習機会を提供します
134	市内事業所に対して、男性が家庭や地域活動、市民活動へ参画できるよう、男性中心の働き方等を前提とした労働慣行の見直しやワーク・ライフ・バランスについての啓発や情報提供を推進します

(51) 男性のネットワーク支援

135	若者、子育て中の父親、定年前後の男性、介護を担う男性等のネットワークづくりを支援します
-----	---

(52) 男性の男女共同参画に関する情報収集と発信

136	固定的な性別役割分担意識が男性にもたらす重圧や男性の心身の健康の問題等、男性に関する情報の収集及び発信をします
-----	---

21 多様な選択を可能にする教育・能力開発・学習機会の充実

(53) 生涯学習に関する情報提供と学習機会の提供

137	生涯学習に関する情報を、様々な機会、媒体を通して提供します
138	ローズWAMや社会教育施設等において男女共同参画をテーマにした講座を充実します
139	社会教育関係団体のリーダーに対して男女共同参画に関する研修を充実します
140	様々な学習機会にだれもが参加しやすいように、一時保育の実施や開催日時・場所等について工夫します。また、子育て世代が講演会や審議会等へ参加できるように、関係課からの依頼により保育ボランティア等を派遣して一時的に子どもを預かる出前型一時保育を実施します
141	ローズWAM等を活用して、女性の芸術や文化、ものづくり等の表現活動を支援します

(54) 女性のチャレンジに関する情報提供と講座の開催

142	セミナーやイベントの企画・運営等の実践的な活動を通して、女性のエンパワーメント支援をします
143	様々なチャレンジに関する情報を収集し、多様な媒体を通じて情報提供をします
144	働く女性のための講座や、再就職を希望する女性のための講座等を開催します

(55) 子どもや若者のための学習や体験活動の推進

145	子どもたちが学習や体験活動を通して男女平等や男女共同参画について学べる機会を充実します
146	若者の自立に向けての支援をします

(56) 生きる力を育む家庭での男女共同参画の推進

147	男女共同参画の視点に配慮した家庭教育学級の取組を推進します
148	家庭教育学級指導者に対して男女共同参画に関する情報提供や研修の機会を充実します
149	男女共同参画の視点に配慮した家庭での教育の推進ができるように子育て中の男女への学習機会を確保します

施策の基本的方向16 子どもの頃からの男女平等への理解の促進と
将来を見通した自己形成支援

(具体的施策 47)男女平等を推進する保育・教育の充実

	施策内容	2018年度(平成30年度)の取組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
124	人権尊重を基盤にした男女平等観の形成を図るための保育や教育を充実します	幼稚園において、人権教育を進めるにあたって茨木市立幼稚園教育課程基準に位置づけるとともに、茨木市・大阪府教育委員会の教材集や事例集等を活用しながら、日々の保育の中で取り組む。保育所において「茨木市人権保育基本方針」・「茨木市人権保育カリキュラム」や保育所保育指針に基づき、児童へのかかわりの中で取り組む。	様々な遊びや活動を通して、一人ひとりに応じた総合的な指導を行いながら、幼児同士が温かい人間関係を結んでいけるような仲間づくりに努めた。	継続	保育幼稚園総務課
		市内30小学校で学童保育室を運営し、児童の受け入れを行った。 【再掲 施策番号26】	平成29年度から平成30年度にかけて受入可能人数を87人増加させた結果、4月1日時点の待機児童数が14人から8人に減少した。今後は小学校に余裕教室がない学童保育室の受入可能人数を増加させる方策の検討が必要である。	拡充	学童保育課
		すべての市立小・中学校において人権教育年間指導計画を作成し、推進を図った。	すべての市立小・中学校において人権教育年間指導計画を作成することで人権尊重を基盤にした男女平等観の形成を図ることができた。	継続	学校教育推進課
125	保育所(園)、幼稚園、学校等での固定的な性別役割分担意識の解消に努めます	幼稚園において、人権教育を進めるにあたって茨木市立幼稚園教育課程基準に位置づけるとともに、茨木市・大阪府教育委員会の教材集や事例集等を活用しながら、日々の保育の中で取り組む。保育所において「茨木市人権保育基本方針」・「茨木市人権保育カリキュラム」や保育所保育指針に基づき、児童へのかかわりの中で取り組む。 【再掲 施策番号124】	男女の区別なく、一人ひとりが大切な仲間であるということ、遊びを中心とした生活の中で認識できるよう努めた。	継続	保育幼稚園総務課
		市内30小学校で学童保育室を運営し、児童の受け入れを行った。 【再掲 施策番号26】	平成29年度から平成30年度にかけて受入可能人数を87人増加させた結果、4月1日時点の待機児童数が14人から8人に減少した。今後は小学校に余裕教室がない学童保育室の受入可能人数を増加させる方策の検討が必要である。	拡充	学童保育課
		男女混合名簿や性別によらない色分け等、日々の活動における固定的性別役割分担意識の解消を図った。	男女混合名簿や性別によらない色分け等の取り組みにより、日々の活動における固定的性別役割分担意識の解消を図ることができた。	継続	学校教育推進課
126	男女平等についての理解を深めるため、保育・教育関係者に対する研修を充実します	関係団体を対象としたスキルアップ研修において「人権・守秘義務」のテーマで開催をした。 〔開催〕平成30年5月31日 平成30年9月3日	子育て支援関係者に対して、人権に関する研修受講の機会を提供できた。	継続	子育て支援課

126	男女平等についての理解を深めるため、保育・教育関係者に対する研修を充実します	幼稚園では、教員及び市職員対象の人権研修に積極的に参加した。 保育所において、全保育職員対象の人権保育研修を実施し、市職員対象の人権研修を受講した。	幼稚園の園内研修の実施や市職員・教員対象の人権研修を受講した。 保育所において、今年度も保育所全職員対象の人権保育研修や市職員対象の人権研修を受講する。	継続	保育幼稚園総務課
		教職員に対して、人権研修を実施した。 ①校長人権教育研修会 〔実施日〕平成30年4月27日 〔対象〕小中学校校長 〔テーマ〕「セクシャルハラスメントを防止するために」 ②人権教育研修C 〔実施日〕平成31年1月28日 〔対象〕小中学校教職員 〔テーマ〕教材をいかした男女平等教育	人権研修を行うことで男女平等について理解を深めることができた。しかし、研修の内容を各校の教職員に伝達していくことが課題である。	継続	学校教育推進課
		性差別やLGBT理解に関する研修を実施し、指導力向上に努めた。 〔実施日〕平成31年1月23日 〔テーマ〕LGBT理解について 〔講師〕特定非営利法人QWRC 代表 コジ 氏 〔対象〕市立小・中学校教職員 〔参加者〕20人	当事者からの話を聞くことで、教職員のセクシャルマイノリティに関する理解が深まった。今後も継続して研修の充実を図る。	継続	教育センター
127	男女平等の視点に配慮した教育相談を実施します	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携して、こころのケアを図った。	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携して、こころのケアを図ることができた。	継続	学校教育推進課
		幼児・児童・生徒・保護者・教職員の教育に関する悩みについて、教育相談を実施した。 〔相談実施内容・件数・回数〕 ①電話教育相談 171件 255回 ②面接相談 135件 2,297回 ③言語教育相談 152件 882回 ④不登校相談 44件 530回 ⑤発達相談 839件 3,123回 ⑥巡回相談 46校に126回実施 ⑦特別教育相談 14回実施35ケース	対前年比で、件数は92.1%、回数は96.9%で、微減となった。充実した教育相談を実施できるよう、引き続き所内研修会等で相談員の資質向上を図る。	継続	教育センター

(具体的施策 48)性別にとらわれないキャリア教育の推進

	施策内容	2018年度(平成30年度)の取組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
128	子どもたちが、社会人・職業人として自立していけるよう、年齢に応じたキャリア教育を推進します	幼稚園において、人権教育を進めるにあたって茨木市立幼稚園教育課程基準に位置づけるとともに、茨木市・大阪府教育委員会の教材集や事例集等を活用しながら、日々の保育の中で取組む。 保育所において「茨木市人権保育基本方針」・「茨木市人権保育カリキュラム」や保育所保育指針に基づき、児童へのかかわりの中で取り組む。 【再掲 施策番号124】	子どもが日々、主体的に活動する環境を整え、遊びを中心とした生活の中で、幼児期の終わりまでに育みたい10の姿を意識した保育に努めた。今後も環境・主体性・非認知能力を大切に取り組んでいく。	継続	保育幼稚園総務課

128	子どもたちが、社会人・職業人として自立していけるよう、年齢に応じたキャリア教育を推進します	市内13中学校区で、キャリア教育全体計画を作成し、それにもとづきキャリア教育の推進を図った。	市内14中学校区で、キャリア教育全体計画を作成することで、年齢に応じたキャリア教育を推進することができた。	継続	学校教育推進課
129	中学校の職場体験学習を充実し、働くことへの理解を深めます	全中学校で職場体験学習を実施した。	全中学校で職場体験学習の実施することで働くことへの理解を深めることができた。	継続	学校教育推進課

(具体的施策 49) 様々な人との共生への取組の推進

	施策内容	2018年度(平成30年度)の取組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
130	外国にルーツを持つ子どもたちが自尊感情を高め、主体性を確立するための支援を行うとともに、子どもたちが豊かに共生する心を育む多文化共生の取組を推進します	子ども達が異文化に触れる機会を取り入れ、日々の保育の中で指導内容や指導方法について工夫をする。	日々の保育実践を工夫するとともに、必要に応じて幼児及びその保護者に対して、通訳者の派遣を実施した。	継続	保育幼稚園総務課
		各校で外国にルーツを持つ子どもたちを対象にワールド教室を実施した。	ワールド教室を実施することで外国にルーツを持つ子どもたちの自尊感情を高め、主体性を確立するための支援を行うことができた。	継続	学校教育推進課
131	多様な性のあり方への理解を深めるための啓発を推進します	広く市民等を対象に、性的マイノリティに関する講座等を開催した。 【再掲 施策番号44】	参加者の満足度は100%と高いが、申込者数が定員の50%程度であるので、より多くの方に参加いただくことが課題である。日程や内容、周知方法等を工夫し、参加者の増を図りたい。また、大学生と協働しながら、社会を通しての課題を考える内容を検討したい。	継続	人権・男女共生課
		幼稚園において、人権教育を進めるにあたって茨木市立幼稚園教育課程基準に位置づけるとともに、茨木市・大阪府教育委員会の教材集や事例集等を活用しながら、日々の保育の中で取組む。保育所において「茨木市人権保育基本方針」や「茨木市人権保育カリキュラム」や保育所保育指針に基づき、保育環境に配慮するとともに、児童へのかかわりの中で取組む。 【再掲 施策番号124】	様々な遊びや活動を通して、一人ひとりを大切にしながら、幼児同士が温かい人間関係を結んでいけるような仲間づくりに努めた。また、互いの良さや違いに気づき、認め合えるような保育に努めた。	継続	保育幼稚園総務課
		さまざまな人権学習の具体的な取組みのモデル案を示した「人権教育授業プラン集パートⅡ」を教職員に配布し、人権課題の一つであるセクシャルマイノリティへの理解促進を図った。	「人権教育授業プラン集パートⅡ」を活用することで多様な性のあり方への理解を深めることができた。	継続	学校教育推進課

施策の基本的方向20 男性にとっての男女共同参画の推進

(具体的施策 50)男性にとっての男女共同参画に関する啓発や学習機会の提供

	施策内容	2018年度(平成30年度)の取組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
132	男性にとっての男女共同参画の意義について理解を促進するための学習機会を提供します	料理未経験者や経験者のレベルに合わせた講座を開講し、男性の料理技能向上の機会を提供した。 【再掲 施策番号30】	引き続き、生涯学習の取組を通じて、男性の技能向上の機会を提供できるように努める。	継続	文化振興課
		男性の家事参画を推進するための各種講座を開催した。 【再掲 施策番号20】	参加申込者が多く、受講後の参加者の満足度がほぼ100%であり、市民の方のニーズと内容がマッチしている人気の講座である。男性の家事・育児参画の一助となる講座であるので、引き続き実施する。	継続	人権・男女共生課
		男性の子育て参画を推進するための講座を子育て支援課と連携し開催した。 【再掲 施策番号20】	参加者の満足度は100%と高いが、申込者数が定員の50%程度であるので、より多くの方に参加いただくことが課題である。日程や内容、周知方法を工夫し、参加者の増を図りたい。	継続	人権・男女共生課
		男性にとっての男女共同参画に関する講座を開催した。 〔実施事業名〕子育てをおもしろがる 〔実施日〕平成31年1月24日 〔参加者〕20人	男性にとっての男女共同参画を推進する内容の講座であったが、男性の参加が少なかった。男性が参加しやすい日程、内容、周知方法を工夫し、参加者の増を図る必要がある。	継続	人権・男女共生課
133	男性が家事、育児、介護等、生活者としての能力をつけるための学習機会を提供します	料理未経験者や経験者のレベルに合わせた講座を開講し、男性の料理技能向上の機会を提供した。 【再掲 施策番号30】	引き続き、生涯学習の取組を通じて、男性の技能向上の機会を提供できるように努める。	継続	文化振興課
		男性の家事参画を推進するための各種講座を開催した。 【再掲 施策番号20】	参加申込者が多く、受講後の参加者の満足度がほぼ100%であり、市民の方のニーズと内容がマッチしている人気の講座である。男性の家事・育児参画の一助となる講座であるので、引き続き実施する。	継続	人権・男女共生課
		男性の子育て参画を推進するための講座を子育て支援課と連携し開催した。 【再掲 施策番号20】	参加者の満足度は100%と高いが、申込者数が定員の50%程度であるので、より多くの方に参加いただくことが課題である。日程や内容、周知方法を工夫し、参加者の増を図りたい。	継続	人権・男女共生課
		出前講座を通して介護保険サービスに関する情報を提供した。 【再掲 施策番号30】	平成30年度は出前講座を15回実施し、参加者289人に対して高齢者福祉サービスに関する情報提供をした。引き続き出前講座を通して高齢者福祉サービスの啓発に努める。	継続	長寿介護課

133	男性が家事、育児、介護等、生活者としての能力をつけるための学習機会を提供します	<p>妊娠中から出産・育児について、知識・技術を学ぶ両親教室（パパ&ママクラス）を実施する。 【再掲 施策番号30】</p>	<p>参加者の97.1%が夫やパートナーと同伴している。アンケート結果では、夫やパートナーの69.1%が「育児体験」を目的に参加しており、「育児体験」がためになったと回答した人が70.8%を占めていたことから、男性への育児参加の意識啓発や導入を行うことができたと考えている。引き続き、夫やパートナーが参加しやすい日程で開催し、育児体験の場を提供していく。</p>	継続	保健医療課
		<p>つどいの広場では、土曜日などに父親も参加しやすいイベントを企画した。 【再掲 施策番号30】</p> <p>市内5か所の公立高校で、子育て中の親子と関わる機会をもつ「ふれあいまなび事業」を実施した。 【再掲 施策番号30】</p>	<p>つどいの広場では、土曜日などに父親も参加しやすいイベントを企画し、男性の子育て参加の促進をすることができた。</p> <p>ふれあいまなび事業では、過去に実績がなかった高校1校での実施ができ、市内公立高校全校での実施実績ができた。各高校のカリキュラムや中学の実施計画により、前年度よりも実施回数が減となった。</p>	継続	子育て支援課
		<p>男性の子育てを推進するための事業「パバスクール」を業務委託によって実施した。 【再掲 施策番号29】</p>	<p>パバスクールにおいては、テーマ毎に数回の講座を行い、家庭運営、こどもとのかかわり方、夫婦関係など、ライフデザインを考える機会を提供できた。</p>	継続	子育て支援課
		<p>「保護者のための講座」・「家庭教育セミナー」・「家庭教育学級」を通じて、保護者（男女問わず）を対象に技能向上の学習機会を提供した。 【再掲 施策番号30】</p>	<p>家庭教育に関する学習の機会を提供できた。今後も、現代的課題や社会情勢の変化に応じた事業となるよう、検討していく。</p>	継続	社会教育振興課
		<p>市又は市民で構成された団体からの要請に基づき、対話や交流を通じて親のあり方を学ぶ学習機会を提供する「親まなびおでかけ講座」を実施した。 【再掲 施策番号30】</p>	<p>大阪府教育委員会作成の親学習教材を用いて、親まなびサポーターの進行のもと、保護者同士が対話することで、子育てについて考える機会となっている。引き続き、出前講座としての周知や市内大学との連携等により受講対象者拡大を図るとともに、サポーターの養成を図っていく。</p>	継続	社会教育振興課
		<p>市内事業所に対して、男性が家庭や地域活動、市民活動へ参画できるよう、男性中心の働き方等前提とした労働慣行の見直しやワーク・ライフ・バランスについての啓発や情報提供を推進します</p> <p>広報誌・ホームページ等を活用し、市内事業所に対して、男性が家庭や地域活動、市民活動へ参画できるよう、労働慣行の見直しやワーク・ライフ・バランスについて、啓発や情報提供を行った。 【再掲 施策番号14】</p> <p>働きやすい職場づくり推進事業所認定制度を実施した。 【再掲 施策番号3】</p>	<p>働きやすい職場づくりセミナーは、企画、広報等の見直しを行ったことにより、参加者数が前年度比108人増加した。市が認定する働きやすい職場づくり推進事業所について、昨年度は2事業所だったが、新たに7事業所を認定した。広報誌・ホームページ等を活用し、市内事業所に対して、男性が家庭や地域活動、市民活動へ参画できるよう、労働慣行の見直しやワーク・ライフ・バランスについて、啓発や情報提供を行う。</p>	継続	商工労政課

(具体的施策 51) 男性のネットワーク支援

	施策内容	2018年度(平成30年度)の取組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
135	若者、子育て中の父親、定年前後の男性、介護を担う男性等のネットワークづくりを支援します	男性の家事参画を推進するための各種講座を開催した。 【再掲 施策番号20】	参加申込者が多く、受講後の参加者の満足度がほぼ100%であり、市民の方のニーズと内容がマッチしている人気の講座である。男性の家事・育児参画の一助となる講座であるので、引き続き実施する。	継続	人権・男女共生課
		男性の子育て参画を推進するための講座を子育て支援課と連携し開催した。 【再掲 施策番号20】	参加者の満足度は100%と高いが、申込者数が定員の50%程度であるので、より多くの方に参加いただくことが課題である。日程や内容、周知方法を工夫し、参加者の増を図りたい。	継続	人権・男女共生課

(具体的施策 52) 男性の男女共同参画に関する情報収集と発信

	施策内容	2018年度(平成30年度)の取組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
136	固定的な性別役割分担意識が男性にもたらす重圧や男性の心身の健康の問題等、男性に関する情報の収集及び発信をします	男性にとっての男女共同参画に関する講座を開催した。 〔実施事業名〕子育てをおもしろがる 〔実施日〕平成31年1月24日 〔参加者〕20人	男性にとっての男女共同参画を推進する内容の講座であったが、男性の参加が少なかった。男性が参加しやすい日程、内容、周知方法を工夫し、参加者の増を図る必要がある。	継続	人権・男女共生課

施策の基本的方向21 多様な選択を可能にする教育・能力開発・学習機会の充実

(具体的施策 53) 生涯学習に関する情報提供と学習機会の提供

	施策内容	2018年度(平成30年度)の取組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
137	生涯学習に関する情報を、様々な機会、媒体を通して提供します	「生涯学習情報誌」や「きらめきだより」、ホームページで情報の発信を行った。	生涯学習情報発信については、情報誌発行やHPを活用しているが、SNS等を活用し更なる発信に努める必要がある。	継続	文化振興課
		都市づくり、まちづくりの主体となる市民との連携・協働を推進する。インターネット等を通じて、分かりやすく使いやすい都市計画情報を提供した。自主的なまちづくり活動の芽を育てるためまちづくりや暮らしに役立つことを誰もが学べる機会を提供した。まちづくりに関する意見交換を通じて人と人のつながりが増え、共感が生まれる「交流の場」を提供した。住民による自主的なルールづくりの取組に対し、協議の場や勉強会等の開催、まちづくりの専門家の派遣など合意形成などについて支援した。 【再掲 施策番号101】	自らの住むまちをより良くしていく活動である「まちづくり」については、行政など特定の主体だけが担うものではなく、そこで暮らす市民を中心とした様々な主体が(もちろん男女ともに手を取り合って)担っていくべきものである。そうした認識から、市民主体でのまちづくり活動の機運が高まるような支援を行ってきたところであり、具体的には、市民向けのまちづくり講座「まちづくり塾」や、東芝工場跡地における今後のまちづくりについて考える「太田知恵の和」の開催、またまちづくり活動の先進事例について情報提供を行う説明会の開催などが挙げられる。今後の方向性としては、機運を高める支援を継続・拡大していくことに加え、今年度専門家派遣に係る予算拡充を行っており、そうした制度も活用しながら、機運が高まった後の具体的な活動への支援についても取組を強化していく。	拡充	都市政策課

138	ローズWAMや社会教育施設等において男女共同参画をテーマにした講座を充実します	料理未経験者や経験者のレベルに合わせた講座を開講し、男性の料理技能向上の機会を提供した。 【再掲 施策番号30】	引き続き、講座を開講し、男性の技能向上の機会を提供できるように努める。	継続	文化振興課
		広く市民等を対象に、男女共同参画週間記念講演会や男女共同参画基礎講座など、男女共同参画に関する講座等を開催した。 年間開催回数 177回のべ8,836人参加	講座の実施回数・参加人数は昨年度と横ばいの状況である。時代にあった内容、啓発方法を検討し、市民の方が参加したいと思う企画をたてる必要がある。	継続	人権・男女共生課
		「保護者のための講座」・「家庭教育セミナー」・「親まなびおでかけ講座」等、保護者（男女問わず）を対象に家庭での子育てや教育に関する講座を実施した。 【再掲 施策番号30】	家庭教育に関する学習の機会を提供できた。今後も、現代的課題や社会情勢の変化に応じた事業となるよう、検討していく。	継続	社会教育振興課
		乳幼児と保護者が一緒に参加できる読み聞かせ講座や、保護者向けの子どもの本の読書講座を実施した。 〔実施回数〕5回、〔参加者〕185人	男女関係なく子育てに関わる大人が参加できる講座等を実施することができた。今後も男女共同参画の視点を持って、講座等を実施する必要がある。	継続	中央図書館
139	社会教育関係団体のリーダーに対して男女共同参画に関する研修を充実します	各種団体のリーダー的立場の方に、人権尊重の意識を高めるとともに、リーダー及び団体の役割等について考えるため、研修会を実施した。 〔実施事業名〕社会教育関係団体等リーダー研修会 〔実施日〕平成31年2月22日、27日 〔対象〕社会教育関係団体役員等 〔参加者〕15人 〔テーマ〕 団体活動の運営に役立つ ホワイトボードミーティング 〔講師〕(株)ひとまち 畑中久代さん 〔場所〕上中条青少年センター	ホワイトボードを利用したファシリテーション技術を学び、コミュニケーションのテクニックやファシリテーションスキル、他者を尊重する人権尊重スキルについて理解を深めることができた。後援申請団体等を中心に広く参加を呼び掛けたが、参加者数は減少した。 「社会教育関係団体として身に付けていただきたい問題意識・教養」という視点で、興味を持ってもらいやすいテーマを選定するとともに、有効な広報活動について検討する。	継続	社会教育振興課
140	様々な学習機会にだれもが参加しやすいように、一時保育の実施や開催日時・場所等について工夫します。 また、子育て世代が講演会や審議会等へ参加できるように、関係課からの依頼により保育ボランティア等を派遣して一時的に子どもを預かる出前型一時保育を実施します	出前型一時保育を実施した。 〔実施事業名〕出前型一時保育 〔託児担当員派遣〕787件 〔一時保育〕2,964人	庁内だけでなく、登録団体への派遣等も十分対応できた。 託児担当員3名に対し、子育て支援員の資格を取得させた。15名受講予定であったが、子育て支援員研修の受入れが難しく、予定よりも少ない人数の参加となった。	継続	子育て支援課
141	ローズWAM等を活用して、女性の芸術や文化、ものづくり等の表現活動を支援します	多様な主体による生涯学習の機会を提供し、生涯学習の体験する機会を提供した。	引き続き、生涯学習センター主催事業・登録団体による、講座開催、舞台発表や作品展示の機会を提供し、来場者の生涯学習への参加・参画するきっかけ作りを提供する。	継続	文化振興課

141	ローズWAM等を活用して、女性の芸術や文化、ものづくり等の表現活動を支援します	<p>市民教室や市民サークル等の支援のため、ローズWAMまつりにおいて、踊りや歌、ダンス等の発表の場を提供した。</p> <p>〔実施事業名〕 第19回ローズWAMまつり 〔実施日〕平成31年2月2日、3日 〔参加者〕2,423人 〔内容〕講演会、各種ワークショップ、舞台発表等</p> <p>地域で活動するサークル等に、活動の成果を発表する機会を提供した。</p> <p>〔実施事業名〕たそがれコンサート 〔実施日〕毎月1回 〔参加〕計327人、12団体出演 〔内容〕ゴスペル、楽器演奏 他</p>	講座の実施回数・参加人数は昨年度と横ばいの状況である。時代にあった内容、啓発方法を検討し、市民の方が参加したいと思う企画をたてる必要がある。	継続	人権・男女共生課
-----	---	--	--	----	----------

(具体的施策 54)女性のチャレンジに関する情報提供と講座の開催

	施策内容	2018年度(平成30年度)の取組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
142	セミナーやイベントの企画・運営等の実践的な活動を通して、女性のエンパワーメント支援をします	<p>女性のチャレンジを応援するため、再就職応援セミナーを開催した。</p> <p>〔実施日〕平成30年6月8日、15日 〔参加者〕のべ47人</p> <p>女性のチャレンジを支援するため、商工労政課と連携し、女性起業交流会及び起業体験を開催した。</p> <p>〔実施日〕①交流会 平成30年12月2日 ②体験会 (WAMまつりに出席) 平成31年2月3日 〔参加人数〕①13人 ②2組</p> <p>男女共同参画に取り組む市民団体の活動を支援した。</p> <p>【再掲 施策番号100】</p> <p>市民と協働し、ローズWAMまつりを開催した。</p> <p>〔実施事業名〕第19回ローズWAMまつり 〔実施日〕平成31年2月2日、3日 〔参加者〕2,423人 〔内容〕講演会、各種ワークショップ、舞台発表等</p>	講座の実施回数・参加人数は昨年度と横ばいの状況である。時代にあった内容、啓発方法を検討し、市民の方が参加したいと思う企画をたてる必要がある。	継続	人権・男女共生課
143	様々なチャレンジに関する情報を収集し、多様な媒体を通じて情報提供をします	<p>ローズWAMにおいて、男女共同参画に関する情報の収集、活用、提供を行った。</p> <p>【再掲 施策番号121】</p>	<p>図書等の貸出件数については、昨年度と横ばいの状況である。</p> <p>時代のニーズに合わせてSNS等さまざまな媒体を通じた情報の発信を検討する必要がある。</p>	継続	人権・男女共生課
		<p>広報誌・ホームページ等を活用し、職業能力開発講座等、さまざまなチャレンジに関する情報提供を行った。</p>	<p>広報誌・ホームページ等を活用し、さまざまなチャレンジに関する情報提供を行う。</p>	継続	商工労政課

144	働く女性のための講座や、再就職を希望する女性のための講座等を開催します	女性のチャレンジを応援するため、再就職応援セミナーを開催した。 【再掲 施策番号142】	講座の実施回数・参加人数は昨年度と横ばいの状況である。時代にあった内容、啓発方法を検討し、市民の方が参加したいと思う企画をたてる必要がある。	継続	人権・男女共生課		
		女性のチャレンジを支援するため、商工労政課と連携し、女性起業交流会及び起業体験を開催した。 【再掲 施策番号142】					
		実践型勤労者スキルアップセミナー 〔実施日〕平成30年9月5日 〔参加者〕38人 〔テーマ〕若手社員のための基礎能力向上セミナー 〔実施日〕平成31年2月24日 〔参加者〕24人 〔テーマ〕スマホで簡単！商品の魅力を伝える写真の撮り方セミナー				継続	商工労政課
		職業能力開発講座 【再掲 施策番号75】				継続	商工労政課
		子育て世代向け就労支援フェア 〔実施日〕平成30年5月25日〔参加者〕32人 〔内容〕就労相談、起業相談、職業適性診断、福祉のお仕事相談、就労における子どもの預りに関する相談、ハローワーク茨木マザーズコーナー「イチオシ！」の求人コーナー				継続	商工労政課
女性向け起業セミナー 【再掲 施策番号18】	継続	商工労政課					

(具体的施策 55)子どもや若者のための学習や体験活動の推進

	施策内容	2018年度(平成30年度)の取組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
145	子どもたちが学習や体験活動を通して男女平等や男女共同参画について学べる機会を充実します	キッズスポーツデーを実施した。 〔実施日〕平成30年5月12日 〔対象者〕市内5歳～小学6年生 〔参加者数〕996人 〔実施場所〕市民体育館、岩倉公園	当日受付のため、実際の参加希望者数を把握できなかった。次回から事前申込を行い、実際の参加希望者数を把握し、参加者を増やす。	継続	スポーツ推進課

145	子どもたちが学習や体験活動を通して男女平等や男女共同参画について学べる機会を充実します	<p>いばらきde・愛・発見ウォークを実施した。 〔実施日〕平成30年11月25日 〔参加者数〕182人 〔実施場所〕茨木市内各所</p>	<p>小さいお子さんを連れて方や年配の方、またウォーキングに普段から取り組んでいる方から初心者の方まで、幅広く参加していただき、ウォーキングに取り組むきっかけとなった。</p>	<p>廃止</p>	<p>スポーツ推進課</p>
		<p>市民スポーツフェスティバルを実施した。 〔実施日〕平成30年11月23日 〔対象者〕市内在住・在勤・在学者 〔参加者数〕1,093人 〔実施場所〕市民体育館、東市民体育館、南市民体育館、水尾公園グラウンド、西河原公園北グラウンド・屋内運動場</p>	<p>参加者数が減少しており、今後の開催に向けてイベントの目的や対象者の設定を明確にする必要がある。</p>	<p>継続</p>	<p>スポーツ推進課</p>
		<p>男女共同参画について学ぶ機会の提供として、夏休みWAMキッズを開催した。 〔実施日〕平成30年8月19日 〔内容〕リケジョ講座・身を守るワークなど 〔参加人数〕504人</p>	<p>子どもたちが性別にとらわれずなりたい自分になれるよう自己決定できる力を身につけることの一助となるような企画内容を検討する必要がある。</p>	<p>拡充</p>	<p>人権・男女共生課</p>
		<p>ユースプラザ事業において、手芸、調理実習、各種スポーツなどの社会体験を、男女の区別なく実施した。 のべ開催回数 23回 のべ参加人数 254名</p>	<p>男女ともに参加できる社会体験を実施することができた。今後も、男女の区別なく社会体験を推進する。</p>	<p>継続</p>	<p>子ども政策課</p>
		<p>市内5か所の公立高校で、子育て中の親子と関わる機会をもつ「ふれあいまなび事業」を実施した。 【再掲 施策番号30】</p>	<p>ふれあいまなび事業では、過去に実績がなかった高校1校での実施ができ、市内公立高校全校での実施実績ができた。各高校のカリキュラムや中学の実施計画により、前年度よりも実施回数が減となった。</p>	<p>継続</p>	<p>子育て支援課</p>
		<p>幼稚園において、人権教育を進めるにあたって茨木市立幼稚園教育課程基準に位置づけるとともに、茨木市・大阪府教育委員会の教材集や事例集等を活用しながら、日々の保育の中で取り組む。 保育所において「茨木市人権保育基本方針」・「茨木市人権保育カリキュラム」や保育所保育指針に基づき、保育環境に配慮するとともに、児童へのかかわりの中で取り組む。 【再掲 施策番号124】</p>	<p>大人との応答的な関わりを通して情緒的な絆が形成され様々な遊びや活動を通して、一人ひとりを大切にしながら、幼児同士が温かい人間関係を結んでいけるような仲間づくりに努めた。また、互いの良さや違いに気づき、認め合えるような保育に努めた。</p>	<p>継続</p>	<p>保育幼稚園総務課</p>
		<p>子どもセミナーや青少年野外活動センターにおけるキャンプ指導を実施した。 〔実施事業名〕 ①子どもセミナー ②青少年野外活動センター主催キャンプ ③小学校自然宿泊体験学習受入 〔実施回数・参加者〕①47回/1264人 ②10事業/2,725人③25校/2,405人</p>	<p>子どもセミナー等、子どもの学習や体験活動を支援する事業を実施したことで、様々な体験の場を提供することができた。 今後も実施内容・テーマを検討しながら開催する必要がある。 青少年野外活動センターでのキャンプは、グループ活動を通して子どもたちが仲間との協力や相手を思いやる心を育む場となっている。</p>	<p>継続</p>	<p>社会教育振興課</p>

145	子どもたちが学習や体験活動を通して男女平等や男女共同参画について学べる機会を充実します	固定的性別役割分担意識にとらわれない職場体験学習や野外体験活動を実施した。	職場体験学習や野外体験活動を通じて男女平等や男女共同参画について学ぶことができた。	継続	学校教育推進課
146	若者の自立に向けての支援をします	セクシュアルマイノリティに関する講座を大学生と連携し開催した。 【再掲 施策番号44】	参加者の満足度は100%と高いが、申込者数が定員の50%程度であるので、より多くの方に参加いただくことが課題である。日程や内容、周知方法等を工夫し、参加者の増を図りたい。また、大学生と協働しながら、社会を通しての課題を考える内容を検討したい。	継続	人権・男女共生課
		子ども・若者を早期に支援し、早期困難解消をめざすとともに、支援する側・される側の負担軽減を図るため、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者に対し、各々の専門性を有する支援機関が必要に応じて連携し包括的に支援した。 また、研修・講座等を開催し、支援ノウハウや情報共有の機会を提供した。 【再掲 施策番号92】	【評価】 中学校卒業後の気になる生徒への支援策を検討・試行した。 子ども・若者自立支援センター事業と就労準備支援事業、就労体験事業の連携を推進する機会をもつことができた。 要保護児童対策地域協議会と子ども・若者支援地域協議会の代表者会議の相互参加が可能となった。 「相談機関への道しるべ」詳細版を年度末に作成し、平成31年度からは協議会の構成機関の新任職員でも他機関情報の詳細を把握できるようになった。 【課題・改善方法】 支援の必要な人に十分には情報が届いていないことが課題である。市民の気づきを支援につなげ、支援機関が必要に応じて連携することで、早期支援・早期困難解消を図る仕組のイメージ図を作成し、広く周知・共有を図る。	継続	子ども政策課
		生きづらさを抱える子ども・若者の状態改善を図るため、茨木市子ども・若者自立支援センター「くろす」において、ひきこもり・ニート・不登校等の子ども・若者とその保護者の個別専門支援を実施した。また子ども・若者支援地域協議会の指定支援機関として、子ども・若者支援の主導的役割を担った。 【再掲 施策番号92】	【評価】 地域の支援者や子ども・若者支援地域協議会の構成機関との連携が進み、支援件数が増加。保護者だけでなく、本人への直接支援件数が増加。「くろす」で支援した結果、子ども・若者の状態改善を図ることができている。利用助成も人数・件数ともに増加した。 子ども・若者を対象とする支援機関のみならず、地域の支援者や介護保険事業所にも事業を周知したことで、気付いた人が支援につなげるきっかけができた。 年度末に、子ども・若者自立支援センターとユースプラザをどんな時に利用できるかを記載した子ども・若者向けリーフレットを作成したことで、本人に向けた周知の準備ができた。 【課題・改善方法】 更に早期に生きづらさの解消を図るため、子ども・若者自立支援センター、ユースプラザ、関係機関の必要に応じた連携を強化していく。	継続	子ども政策課

146	若者の自立に向けての支援をします	<p>市民税非課税世帯、生活保護世帯・所得制限額内の世帯の子ども・若者とその保護者に子ども・若者自立支援センターの利用料を助成した。 【再掲 施策番号92】</p>	<p>【評価】 平成31年度から利用料を無償化することで、支援につながりやすい体制を作ることができた。</p>	継続	こども政策課
		<p>貧困の連鎖を解消するため、学習会を市内5ブロック6か所で開催した。また、学習・生活支援員が家庭訪問を行い、家庭の生活状況や保護者と本人の事業利用意向を確認した上で、学習会に誘導した。保護者の生活相談も受け、必要な支援につないだ。 【再掲 施策番号92】</p>	<p>【評価】 中学校と学習・生活支援員や事業受託者との連携が定着し、学習会での子どもの様子や学校での生徒の様子を情報共有しながら支援することができた。学習会を欠席している子どもへの支援が十分にできていなかった。</p> <p>【課題・改善方法】 事業周知が行き届くのが、8月の児童扶養手当現況届時となり、年度当初からの利用につながりにくい。対象を経済的困難だけでなく、孤立しがちなひとり親家庭の中学生に拡充する。学習会欠席者への対応策を検討する。児童扶養手当現況届時以外に事業につなげる方策を学校連携を軸に検討する。</p>	継続	こども政策課
		<p>子ども・若者が地域で孤立することのないよう人とつながる場を創るとともに、関係機関等と連携して支援することで、子ども・若者の生きづらさの早期解消を図るため、社会経験や相談ができる居場所「ユースプラザ」を市内4か所に開設した。子ども・若者支援に関わっている団体・組織と連携しながら取り組んだ。 【再掲 施策番号92】</p>	<p>【評価】 学校や家庭から離れて過ごせる、「何もしなくても良い場所」で人とつながる場ができた。 子ども・若者の生活や家庭の課題、生きづらさ等の現状が見えつつある。</p> <p>【課題・改善方法】 保護者がほっとしたり、交流できる場としての展開を図る。 生きづらさを抱える子ども・若者とその保護者に情報を届けるための方策を検討・実施する。 子ども・若者支援関係者だけでなく、様々な分野の支援者と連携しながらユースプラザの利用につながる取組を推進する。 利用につながりやすくなる工夫や継続利用に向けた工夫を施す。</p>	拡充	こども政策課
		<p>ハローワークや茨木商工会議所と連携し、就職サポート事業として、仕事なんでも相談、合同就職面接会等の就労支援を実施した。 【再掲 施策番号75】</p>	<p>仕事なんでも相談の相談件数は21件増加した。 ハローワークや茨木商工会議所と連携し、合同就職面接会など就労支援を実施する。</p>	継続	商工労政課

(具体的施策 56)生きる力を育む家庭での男女共同参画の推進

	施策内容	2018年度(平成30年度)の取組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
147	男女共同参画の視点に配慮した家庭教育学級の取組を推進します	児童の保護者が家庭教育の重要性を認識し、子どもの育成に必要な知識と技術について学習するための学級を委託により開設する。 【再掲 施策番号30】	親学習、人権の尊重、子どもの心とからだの健康等をテーマとした学習会や交流会を、各学級が自主的に企画・実施した。保護者がつながり、ともに学ぶ場となっている。 社会情勢の変化に伴い、講座実施回数や参加者数が減少傾向にあり、新たな活動形態等について検討が必要となってきた。	継続	社会教育振興課
148	家庭教育学級指導者に対して男女共同参画に関する情報提供や研修の機会を充実します	各家庭教育学級の指導者等を対象に、学級運営上必要と思われる知識や実践的な技術を習得し、より魅力のある学級づくりに役立ててもらふことを目的に研修会を実施する。 〔実施事業名〕家庭教育学級指導者研修会 〔実施日〕平成30年4月19日、26日 〔テーマ〕コーチング・センスアップ講座 〔講師〕Newとらるco.山本三保さん 〔場所〕男女共生センターローズWAM	コーチング技術のコミュニケーションへの応用を考えるよい機会になり、アンケート結果も良好であった。 今後は、対象者、テーマともに共通していた「社会教育関係団体等リーダー研修会」と統合し、指導的立場に対する研修というテーマを維持しつつ、参加者の要望に沿った内容を今後も模索していく。	継続	社会教育振興課
149	男女共同参画の視点に配慮した家庭での教育の推進ができるように子育て中の男女への学習機会を確保します	地域子育て支援センターやつどいの広場において、子育て講座を実施する。	地域子育て支援センター及びつどいの広場では、定期、不定期を含めて様々な子育てに関する講座を実施し、子育て家庭へ学習機会を提供することができた。	継続	子育て支援課
		男性の子育てを推進するための事業「パパスクール」を業務委託によって実施した。 【再掲 施策番号29】	パパスクールにおいては、テーマ毎に数回の講座を行い、家庭運営、こどもとのかかわり方、夫婦関係など、ライフデザインを考える機会を提供できた。	継続	子育て支援課
		「保護者のための講座」・「家庭教育セミナー」・「親まなびおでかけ講座」等、保護者(男女問わず)を対象に家庭での子育てや教育に関する講座を実施した。 【再掲 施策番号30】	家庭教育に関する学習の機会を提供できた。 今後も、現代的課題や社会情勢の変化に応じた事業となるよう、検討していく。	継続	社会教育振興課
		「社会教育関係団体等リーダー研修会」において、各種団体のリーダー的立場の方に、人権尊重の意識を高めるとともに、リーダー及び団体の役割等について考えるための研修会を実施した。 【再掲 施策番号139】	ホワイトボードを利用したファシリテーション技術を学び、コミュニケーションのテクニックやファシリテーションスキル、他者を尊重する人権尊重スキルについて理解を深めることができた。後援申請団体等を中心に広く参加を呼び掛けたが、参加者数は減少した。 「社会教育関係団体として身に着けていただきたい問題意識・教養」という視点で、興味を持ってもらいやすいテーマを選定するとともに、有効な広報活動について検討する。	継続	社会教育振興課